

はじめに

NTT西日本グループは、年間約20億kWhという電力を使用し、それに伴って大量のCO₂を排出しています。電力エネルギーを大量に使用する企業の責務として、消費電力の削減に加えて、地球環境保護にも積極的に取り組んでいく必要があると考えています。

そこで、自らの事業に伴う環境負荷低減に向けた取り組みに加えて、西日本スピリッツの行動規範、並びに地球環境憲章、環境指針に基づき、「みどりいっぱいプロジェクト」を発足し、植樹を核とした生物多様性保全活動の取り組みを展開することとし、2012年11月27日にキックオフが行われました。

あわせて、ICTを利活用した環境・エネルギー事業を展開し、環境負荷低減に貢献していきます。

NTT西日本 みどりいっぱいプロジェクトの概要

地域の自然的・社会的条件に応じた生物多様性の保全のため、自治体・NPO等と連携しながら、下記にあげるような植樹を核とした生物多様性保全活動を、NTT西日本管内全府県で統一した活動名「みどりいっぱいプロジェクト」として、西日本の全府県でNTT西日本社員・その家族・退職者など1万人規模の活動にすることをめざします。

「みどりいっぱいプロジェクト」様々な活動例

下草刈り等の適切な森林管理、人工林の針広混交林化や広葉樹林化等の生物多様性に配慮した多様な森づくりの活動



ヒノキの下草刈り
(NTT西日本 和歌山グループ)

外来種を防除し、その地域本来の生態系を保全・回復する活動



琵琶湖の外來魚駆除
(NTT西日本 滋賀グループ)

都市公園等における樹林地の保全、建築物の敷地の緑化やビオトープの整備等、生きものの生息・生育空間となる身近な緑地や水辺等を保全・再生・創出する活動



琵琶湖のヨシ刈り
(NTT西日本 滋賀グループ)

絶滅危惧種や、種の保存法に基づき指定されている国内希少野生動植物種の保護増殖等に取り組む活動



ニッポンバラタナゴの保護
(NTT西日本 奈良支店)

自然草原、風衝草原、極相林等の自然度の高い環境を保全する活動や、里地里山の森林・農地・ため池、公園緑地やビオトープ等において、生きものの生息・生育環境を保全する活動



長良川の清掃による環境保全
(NTT西日本 岐阜グループ)

生物多様性を保全するための活動の意義等を普及啓発するために行う自然観察会や体験イベント、シンポジウム等の活動(地域の生物多様性を活かしたエコツーリズムを通じた活動等も含む)



葵サミットの開催
(NTT西日本本社、京都・静岡・福井グループ)

植生、動植物等の状況やその成立条件となる気象、水質、土壌等、地域の生物多様性の現況を把握・評価するための調査活動



センサーネットワークによる
バナナノゴの育成条件調査
(NTT西日本奈良支店・
NTTコミュニケーション基礎科学研究所)

活動場所の提供、活動に伴う生産物・副産物の利用や販売の促進等、生物多様性を保全するための活動を側面から支援する活動



間伐材利用のオフィス
(NTTスマイルエナジー)

各地の活動をホームページで公開しています。

詳しくは、NTT西日本公式HPへ URL:<http://www.ntt-west.co.jp/kankyo/create/>

活動状況と今後

発足当初、18府県、約2000人で始まった活動は、2013年度には全30府県、約5000人の参加が見込まれ、地域主体等との連携協定等も新たに5件が予定されている他、遠隔地を結んだサミットの開催や、生物多様性授業等ICTを活用した活動も展開されています。

今後も活動を推進し、環境・生物多様性へのICT利活用で、社会に貢献していきます。

ICTを活用したサミットと授業の例



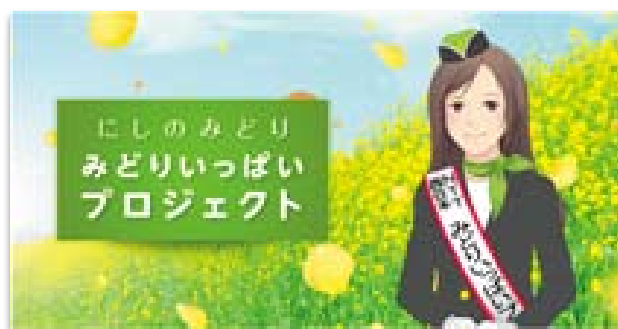
「にしのみどり」が応援するみどりいっぱいプロジェクト

「にしのみどり」は、NTT西日本グループが行う地域の生物多様性の保全活動のイメージキャラクターです。

NTT西日本フレッツ公式サイトコンシェルジュの「西野ひかりさん」が、任命を受けて「にしのみどり」として、みどりいっぱいプロジェクトの活動内容を紹介していきます。

NTT西日本公式ホームページでは西日本各地で行われる環境に関する活動を公開しています。

<http://www.ntt-west.co.jp/kankyo/create/>



「緑のgoo」と連携したみどりいっぱい活動

NTT西日本グループは、ICTの利活用を牽引することにより環境保護に寄与するとともに、今後も引き続き、自らの地球環境の負荷低減に努めていきたいと考えています。その中で社員の環境貢献に対する意識の啓蒙と社会貢献活動との一層の推進を図ることを目的として、NTTレゾナントが提供する「緑のgoo」の取り組みに協力し、4年前から社内での利用推進をはじめました。

具体的には社内パソコンのスタートページに「緑のgoo」を登録する、又はブックマークするよう呼びかけ、社員一人ひとりが自発的に取り組めるようにしています。

2012年度からスタートした「NTT西日本みどりいっぱいプロジェクト」の一環としても取り組み、2013年度は「緑のgoo」利用頻度が前年度に比べ約40%アップしています。

第14回寄付の期間(2013年4月～2013年9月)では、「緑のgoo」利用全体の約7%(2,538,071アクセス)に貢献しています。

自然保護団体ご担当者様と各地域で活動しているNTT西日本グループ担当者による座談会

各地域で生物多様性保全の取り組みを行っているNTT西日本グループ担当者3名に加え、「ネイチャーおおさか」公益社団法人 大阪自然環境保全協会 理事・岡和田 齊様にもご参加いただき、お互いの活動の取り組み、今後の展望等を語っていただきました。



公益社団法人 大阪自然環境保全協会 理事 岡和田 齊 様

約1,000名の会員(2012年3月現在)を擁する自然保護団体の理事として、さまざまな団体等との連携活動や協会広報を積極的に行い、活動の普及に努められています。

NTT西日本 人事部 田村 智彦

近畿大学で取り組まれている絶滅危惧種・ニッポンバラタナゴの保護・保全活動に参画。社員だけでなく、家族も楽しめるイベント等を企画し、活動の輪を広げている。

— 皆さんの活動について教えていただけますか。

NTTビジネスアソシエ西日本 関西支店 紺野 正幸(以下、紺野)

私が環境活動を始めたのは約3年前、「NTT西日本グループ葵プロジェクト」からです。その時知り合った仲間との交流が楽しく、現在まで続けています。また、ネイチャーおおさか様の活動にも参加させていただいています。

大阪自然環境保全協会 岡和田 齊様(以下、岡和田様)

私たちは自然環境を次世代に残すことを目的に活動しています。NTT西日本グループの皆さんとは植樹活動を通じて交流を持つようになりましたが、これからもNTT西日本グループの方と一緒に活動したいと思います。

NTTビジネスアソシエ西日本 北陸支店 吉田 孝行(以下、吉田)

私は以前、福井支店でISO14000認証の取得に携わってから環境問題を意識するようになり、今は石川県を中心とした北陸で、里山・里海の保全活動をお手伝いしています。

NTT西日本 人事部 田村 智彦(以下、田村)

私は8月までNTT西日本一みやこ 奈良支店に在籍してまして、その時に近畿大学様の取り組みを知り、参加し始めました。ニッポンバラタナゴの保護に不可欠な環境整備のお手伝い等が主な活動内容です。

岡和田様:環境保護活動というのは「楽しみながら」というのが、続けていく上でとても重要です。皆さんは活動を活発にする工夫や取り組みはされていますか。

紺野:私の場合は「関西エコ情報」でイベントの告知を行ったり、身近な仲間を誘って一緒に活動しています。先日は支店の枠を超え、ニッポンバラタナゴの保護活動に参加させていただきました。また、社外への取り組みとして自治体主催のイベント等にも参加し、仲間を増やして活性化を図っています。

田村:私もニッポンバラタナゴの保護活動では、特に子どもが参加しやすくなるような田植えやザリガニ釣り等のイベントを企画・実施しています。子どもが参加すれば親や祖父母も参加しますし、家族みんなで環境活動への意識が高まれば、継続して参加してもらえますから。また、近畿大学の准教授に簡単な

NTTビジネスアソシエ西日本 北陸支店 吉田 孝行

現在は北陸の里山・里海保全についての活動を継続。また、トウモロコシを原材料とした「バイオマスプラスチック」の社内普及にも貢献。

NTTビジネスアソシエ西日本 関西支店 紺野 正幸

通算126号(2013年9月現在)を数える環境関連の情報誌「関西エコ情報」を社内ホームページに随時発行。また、主に関西で植樹や里山保全等の活動に従事。

講義をしていただき、大人の参加者の知識欲も満たす有意義な取り組みも進めています。

吉田:里山は参加者が一桁になることもあり、参加者を増やすことが課題ですね。私は参加頻度に応じて金券に交換できる、石川県実施の「里山ポイント制度」を活用し、社内で積極的に参加者を募っています。

岡和田様:社員からその家族、そして社外の仲間へと活動の輪が広がることで、活動が発展し、続いていくのだと思います。植樹は100年先を見据えた緑化計画ですが、NTT西日本グループの皆さんとともに次世代、さらに次の世代へ環境保護活動が受け継がれていくことを願っています。

— NTT西日本「みどりいっぱいプロジェクト」についてはいかがでしょうか。

田村:NTT西日本だからこそできる活動を進めていければと思います。例えば「ICT事業」との連携。動植物の生育過程をインターネットと情報機器により見える化し、社内外で共有すれば、活動への意識もより高まるのでは、と考えます。

吉田:これまで以上にNTT西日本グループ間の連携を密に行い、互いに交流を深め、活動を活性化する必要があると感じます。それぞれが業務を行いながらの活動になるからこそ、より多くの人が参加し、サポートし合うことで、お互いの負担を減らしながら高い成果を得られるようになると思います。

紺野:活動の認知度をさらに高めることで、社員だけでなく、その家族や、取引先等にも活動への理解を深められ、より多くの参加者が期待できるのではないのでしょうか。活動に関する広報を社内外に広くアピールすることが大切だと思います。

岡和田様:「ネイチャーおおさか」での経験では、活動を継続することで参加者のリピート率も増えます。例えば植樹活動であれば、単に植えるだけで終わらず、植えた木々がどうなっているかを見ていただく。こうした活動の継続性が、「自分の成果」を目に見えるカタチで実感でき、新たなやりがいも生まれます。NTT西日本グループの皆さんには、活動の継続を意識した取り組みを進めていただきたいと思います。

各地域の活動における、ご協力者様からのメッセージ

ニッポンバラタナゴ保護活動

本活動では、直接的な人的貢献とともに通信分野というNTT西日本の事業特性を生かした新しい取り組みも始まっています。

ニッポンバラタナゴの保護をはじめとする生物多様性保全の活動を広く社会に普及し、定着させるためのモデルケースとなることを期待しています。

近畿大学農学部環境管理学科水圏生態学研究室 准教授 北川 忠生 様

多様な主体の参画による里山里海づくり

2013年6月、NTT西日本 金沢支店様の企画で、NTT西日本グループ環境担当者研修会が奥能登で開催され、参加者の皆さんが棚田に入り草取り行う等、米づくりの苦労を体験されました。NTT西日本 金沢支店の皆様におかれましては、過疎高齢化が進む里山地域で、企業の立場から積極的に里山里海の保全活動に参加いただけるよう、今後も期待しています。

石川県環境部里山創成室 室長 奥本 勉 様

特集2

ICTを活用したみどりいっぱい活動

～みえ～るエコ畑^{ばた}～

NTT西日本みどりいっぱいプロジェクトでは、ICTを活用した「みどりいっぱい活動」も進めています。環境や生物多様性に関わる遠隔会議や、センサーを使用した絶滅危惧種の見守りを実施しています。ICTを使えば離れたところからでも大切なものを見守ることができます。

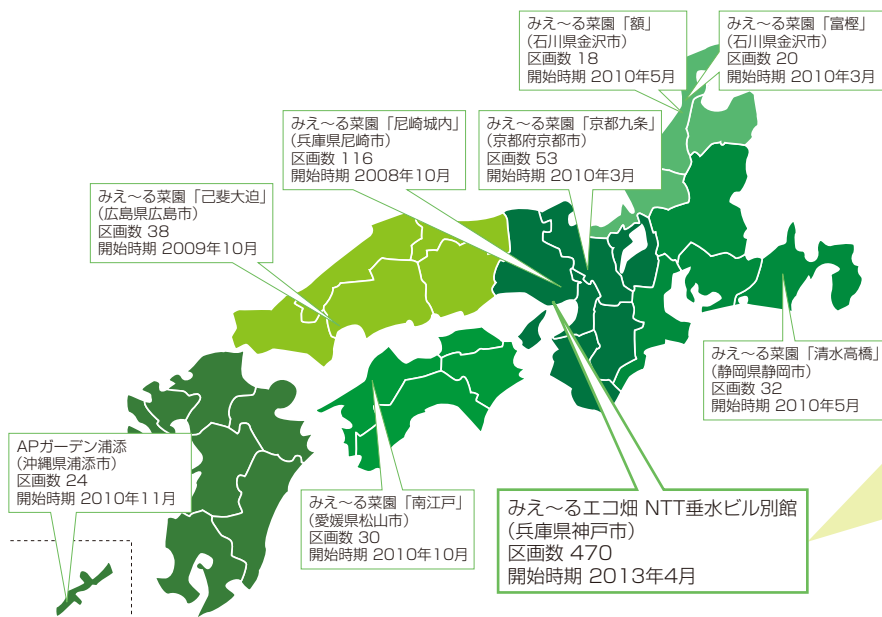
NTT西日本アセット・プランニングは、農地の少ない都市部において、野菜作りを楽しんでもらうため、水耕栽培によるレンタル農園「みえ～るエコ畑^{ばた}」を、NTT垂水ビル別館(兵庫県 神戸市)に開園しました。

水耕栽培は、土を使用しないで、野菜の成長に必要な養分を溶かした水(培養液)だけで育てる養液栽培です。屋内で、培養液や照明・温度管理により最適条件下で栽培するため、土耕栽培に比べ生育が早いことが特徴であり、例えばレタスの場合は、種まきから40日程度で収穫できます。

「みえ～るエコ畑」では、NTT西日本の建物に屋内型農園を構築し、利用者へ区画ごとにレンタル農園として提供します。室内で栽培するため、害虫の心配がほとんどなく、無農薬による野菜作りが楽しめます。また野菜の育成に適したHEFL(ハイブリッド電極蛍光管)照明を採用することで省電力化を実現し、環境にもやさしい農園です。屋外型の「みえ～る菜園」とあわせると、全国に9箇所あります。



「みえ～るエコ畑・みえ～る菜園」



地球温暖化対策のため、2008年よりNTTグループで推進している「グリーンNTT」プロジェクトの一環として、2012年3月にNTT淀総合運動場（京都府久世郡）の敷地内に、設置容量63kW、想定年間発電量60MWhの太陽光発電システムが完成しました。発電には256枚のソーラーパネルを使用し、約6万キロワット、施設全体で使用される電力の約20%をまかなう予定です。

この完成をもって2008年に計画したNTTグループ全体で5MWの計画が完了したのとあわせて、NTT西日本の43施設で年間の発電量が920MWhになりました。（図1）

またNTTスマイルエナジーは、「エコめがね」で計測した太陽光発電システムデータを産業技術総合研究所太陽光発電光学研究センターシステムチームに提供し、日本国内の太陽光発電システムの発電量統計データ整備活動に協力しています。

「エコめがね」利用者の太陽光パネル発電規格容量は100MWに達しており*、パネルの面積は東京ドーム12個分。NTTマイルエナジーでは発電に際しての情報を個人情報を含まない形で提供し、太陽光発電システムの発電データの収集と統計データの整備を進めていくことで太陽光発電市場の発展に貢献しています。

* 2013年12月時点

NTT西日本グループでは、グリーンNTT西日本戦略のもと、今後も地球環境にやさしい企業をめざし、引き続き電力使用量削減への取り組み、クリーンエネルギーを推進していきます。

NTT淀総合運動場のクリーンエネルギーシステム



エコめがねを使った発電量統計データ整備活動



「太陽光発電状況見守りレポート」画面

図1 太陽光発電運用状況(2013年3月末現在)

